

第11回 阪神高速事業アドバイザー会議
議事概要

1. 日時：2021年11月2日（火） 10:00～11:30

2. 場所：中之島フェスティバルタワー会議室

3. 出席者：浦西委員、河合委員、正司座長、関委員（代理出席）、
中浜委員、松坂委員、矢野委員

（50音順）

4. 議事要旨：

○「議事(1)前回議事概要」について事務局より説明。

○「議事(2)2020年度決算報告」「議事(3)2021年度の事業実施状況・トピックス」について、それぞれ事務局より説明後、委員より以下のとおり意見が出された。

*高齢者の逆走防止のため、わかりやすい道路標示等の対策に取り組んでほしい。

*都市高速道路にとって、カラー舗装やナビゲーションアプリの音声案内は非常にわかりやすく走行時の安心につながる。また、ドライバーズサイトや安全走行ナビもわかりやすくして良い。

*若い世代はInstagramで情報を収集しているので、これを活用することでこうした世代にも阪神高速の良さをアピールできるのではないかな。

*大阪・関西万博に向けて外国人へのわかりやすい案内のほか、PA等で関西の魅力を発信してほしい。

*阪神高速の安全・安心の取組の見える化、大阪・関西万博に向けてPAに地場産のものを置いて大阪をアピールするなど、さらなる道路サービスに取り組んでほしい。

*法人向けの貨物輸送が小型化・高頻度化にトレンドが移っている。こうした変化にも注視して万博開催期間中のピーク時の交通量を抑制する交通マネジメントに取り組んでほしい。

*交通量変化の分析については、コロナ影響以外にも、周辺道路の整備状況や他高速道路でのリニューアル工事による迂回流入等の影響も考えられる。利用データをより詳細に分析することでわかってくることもあるのではないかな。

*データを駆使して高速道路の現状を把握することは重要。例えば高速道路上のデータを活用してスピード違反者に割増料金を課すなど、会社の権限を超えて社会にとって有益な施策を実施する視点を持つことで新たなビジネスチャンスが生まれるかも知れない。

*その他、関連事業の見通し、環状リニューアル工事に係るカーナビ連携や迂回案内の状況等に関して質疑応答があった。

—以 上—

第12回 阪神高速事業アドバイザー会議〔現場視察〕 実施概要

1. 実施概要

- 1) 開催日：2022年4月20日（水） 13：45～17：30
- 2) 視察場所：① 神戸線リニューアル工事現場（摩耶⇄芦屋）
② 交通管制室
- 3) 出席者：河合委員、正司委員、関委員、中浜委員、松坂委員（50音順）

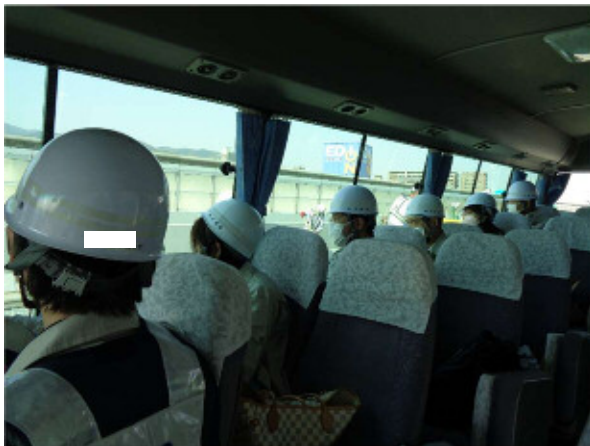
2. 開催状況

① 神戸線リニューアル工事現場（摩耶⇄芦屋）

神戸線リニューアル工事（摩耶⇄芦屋間。2022年4月15日～4月25日）において、高性能床版防水工事やSFRC舗装工事等を視察。

② 交通管制室

交通管制室において、2021年度に導入した新たな交通管制システムを視察。



〔神戸線リニューアル工事現場 視察状況〕



〔交通管制室 視察状況〕

また、現場視察後に意見交換会を行い、委員より以下の意見が出された。

- *リニューアル工事の「見える化」は非常に重要である。道路の損傷状況や工事の進捗状況等を開示、広報することで、より多くのステークホルダーから工事の必要性などについての理解と信頼が得られると思う。
- *大阪湾岸道路西伸部等の整備にあたっては、既設構造物においては想定以上の負荷がかかっているという現状の課題を踏まえ、耐久性を高めるなどの対策を検討する必要がある。
- *大阪・関西万博開催期間中の交通マネジメントについて、人流や物流が滞らないよう、関係機関とともに対策の検討を進めてもらいたい。
- *サイバー攻撃に対して、高速道路も高度なセキュリティが求められる。交通管制システム

等のセキュリティ対策は、物流機能を麻痺させないためにも非常に重要である。

- *ポスターや映像などによるビジュアルな広報は阪神高速のイメージアップにつながる。大阪・関西万博などを広報の機会として捉え、さらに阪神高速の見える化を進めて欲しい。
- *女性が活躍できる環境を整えることは重要である。採用や管理職登用における女性比率を高めるなど、ダイバーシティ&インクルージョンを推進することで多角的な視点・発想が得られるため、引き続き推進してもらいたい。